

第1回

高齢化社会でニーズが急増

「遺品整理」と「遺品整理士」とは

最近、良く耳にするようになった「遺品整理」。 「遺品整理」は、「亡くなられた方の遺品を整理すること」を指しますが、高齢化や核家族化などの進行に伴い、この遺品整理をご遺族に代わり、対応する専門業者が昨今、台頭するようになってきました。

前に遺品になるであろう物品を整理される方も、中にはいらっしゃるかもしれませんが、ご依頼の多くは、家族を亡くされた方からです。その負担が少しでも軽くなるようにと、新しい業界として広まったのが「遺品整理業」というわけなのです。

遺品整理の需要の高まりと「遺品整理士」

・遺品を整理したいが、重い荷物が多く、整理が進められない
・何が大切な物かが分からず、簡単にやってもらえるなら、整理自体を任せたい

需要が高まっていく中で、遺品整理業界の間にも、遺品の不法投棄や不当売却、費用の高額請求など、悪質なことを行う業者が叫ばれるようになってきました。

ご依頼されるご遺族の気持ちとしては、「整理する気持ちがあっても出来ない」もしくは、「何から始めて良いか分からない」というのが本音のようです。

昨今は生前整理など、亡くな

る前に遺品整理業務に対してのモラルが低下し、法規制などを無視した対応の増加が叫ばれるようになり、そうした業界の問題性を抑止すべく、誕生したのが

「遺品整理士認定協会」であり、「遺品整理士」です。

遺品整理についての知識はもちろんのこと、故人やご遺族の気持ちに寄り添い、悩まれることなく、安心して任せられる専門家の育成に努め、会員も6500名に上ります。

遺品整理を依頼される方の資格取得も増えており、遺品整理に携わる方々に知って頂きたい資格となりました。

遺品整理士が出来ること

遺品整理士には、どんなに小さなことでもお尋ねください。

トラブルを防ぐ意味でも、トラブルから身を守る意味でも、「疑問を残す」ことがあつては

いけません。遺品整理は一生に何度もあることではありませんし、納得されない状態で依頼されるのが、トラブルの原因になります。

遺品の整理はもちろんのこと、廃棄物の処理や遺品のリサ

イクル、お部屋が片付いた後の清掃や消臭作業など、皆様それぞれ、色々なことを依頼され、遺品整理士は、それらの要望すべてに応えられるよう、尽力いたします。

遺品整理の依頼を考えられた際、多くの方が困るのが「安心して任せられる遺品整理業者」であり、安心の指標として、遺品整理士資格が広くご理解頂けたら、ご負担を少しでも軽くするお手伝いが出来るのではないかと信じております。

<p>きむら 木村</p> <p>えいじ 榮治</p>	
<p>(一社) 遺品整理士認定協会理事長、(一社) 事件現場特殊清掃センター理事長。遺品整理士の資格認定の他、「事件現場特殊清掃士」資格を創設するなど、遺品整理に係る社会問題に対して使命を持って立ち向かい、現在の活動に至る。問合せ先：0123-42-0528</p>	